

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいいたします。

皆様の本年のご多幸を心よりお祈りしております。

本号3ページに、弊社主催のセミナーのご案内を掲載しています。ぜひご覧下さい。

BFSニュースレター

発行者 びとファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2011年1月5日発行

Vo1. 20, 第20号

このニュースレターの主な掲載情報:

- ・ グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- ・ BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- ・ 資産運用や人生設計に役立つ情報
- ・ 知っておくと得するホットな情報

株や投信で取られた税金を取り戻そう！

昨今は、株や投資信託の売買で利益を出すのが、なかなか難しくなっているのは、皆さんが実感するところではないでしょうか。それでいながら、しっかり取られているのが、税金です。そして税金で怖いのは、自分で何もしないと、取られた税金は絶対に還ってこないということです。税務署は「こうすれば税金は還ってきますよ。」と親切に教えてくれません。訊かないと答えられないというのが、原則です。さらに怖いのは、何もしていないという「無作為」は、何年も続くという性向があるということです。たとえば10年の間に、税金が毎年5万円ずつ還ってきた場合、50万円にもなります。一度固まった行動様式が続くと、税金の場合毎年積み重なりますから、大きな差になってくるわけです。

この「無作為」は、税金が還ってくることを知らない場合と知っていても面倒くさいとやってやらない場合の2つのケースが考えられます。さらに「知っていても」のケースでも良くは知らないでなんとなく面倒くさい、これまで確定申告をしたことがないので面倒くさいということもあるでしょう。しかし、さきほどお話したとおり、税金の場合、毎年積み重なりますから、その「無作為」が大きな差になるということを気をつけたいところです。

確定申告は、2月16日から始まります。ぜひ、昨年源泉徴収されている売買益や配当金の税金が戻ってこないか、チェックしてみるとよいでしょう。現在のような株式市場の状況では、利益が出て売ったら、しっかり利益への税金が源泉徴収されたり、持っている株の配当金はすべて税金が取られているのに、持ち株はほとんど評価損というケースが多いはずで、「損しているのに取られたもの

は取り返してやる！」というほどの気持ちで、確定申告に臨んでみたらいかでしょうか。

以下に、主な優遇税制を上げておきます。該当する取引がある場合は、税務署や税理士に確認してみるとよいでしょう。



- ・株式や株式投資信託(債券型投資信託でも、課税上は株式投資信託の取扱が多い)の配当金は、同じ年の株式や株式投資信託の売却損や3年以内の株式や株式投資信託の売却損失で繰り越してきたものとの損益通算が可能。→配当金課税分(所得税・住民税とも)が還付される。
- ・株式や株式投資信託の売買益は、同じ年の株式や株式投資信託の売却損との損益通算や3年繰越されている売却損との相殺が可能→売買益課税分が還付される。
- ・外国株、外国の上場投資信託や外国債券の配当金や利子にかかる外国での税金は、「外国税額控除」という税制を活用して、所得税や住民税から控除できる。→外国での課税分が還付される。

日本の食べ残しの量はどの程度？

日本の家庭から出た台所ゴミのうち、手付かずの食品の割合が約4割あるそうです。また買ってきたままの状態でごみに出された食品も、ある調査では11%もあり、それらの賞味期限を調べたら、6割は賞味期限切れ前だったとのこと。毎日ほぼ1食分の食品が無駄に捨てられている計算になるそうです。そして、食べ残しを大量に発生させているのが「上流～中流の上」の家庭ということです。



日本の食品廃棄物の量は、平成16年度2000万トンにもなります。この量は、その年の世界の食料援助量(730万トン)の実に約3倍に相当する量です。

世界の食糧難は、少し日本が食品廃棄物の見直しをすれば、解決できてしまうのです。地球温暖化防止にも大いに役立つでしょうから、食べ残しには気をつけたいものです。なにより家計が助かります！

今月の言葉:

- ・ 君子終日乾乾す。
—1日中怠りなく、積極果敢に前向きに物事を推進していく。
- ・ 終日乾乾すとは、道を反復することなり。
—本物の力をつけるには同じ事を繰り返し繰り返し続けていく必要がある。反復継続することで物事の道が大きく開けていく。
- 易経



・BFSのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・BFSは、金融機関とは完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・BFSは、最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニング、BFSについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)
代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20
汐留ビルディング3階

電話：03-6721-8386
携帯：090-4934-3121
FAX: 050-3156-1072
電子メール：info@bfsc.jp

皆様への情報提供ソース：

びとうファイナンシャルサービス公式ホームページ

<http://www.bfsc.jp>

びとうファイナンシャルサービス公式ブログ

<http://ameblo.jp/bitofinancialservice/>

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ！

<http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

書評ブログ-平日毎日更新

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを
—びとうファイナンシャルサービスの大切な役割—

私の「書評ブログ」をご存知ですか？

私の「書評ブログ」をご存知でしょうか。まだご覧になっていない方は、ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。このところ閲覧する人が増えていて、1日200人を越えています。これらの人が、このブログを1日に800回も見ることがあり、月間では2万回にも上ります。平日毎日更新していますが、毎日楽しみに読んでいただいている方も多そうです。時には検索で、私の書評が出版社やアマゾンより上位に来ることがあります。また、本の書評として、かなり上位に、掲載されています。

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

実は、これを始めた動機が、私の読書録代わりというところがミソで、私が読んで「なるほど」と思ったポイントが列挙されているのが特徴です。そのため、これを読むと、私がポイントと思ったところというバイアスがかかりますが、ある意味では「その本のエッセンスが数分でわかる」というメリットがあります。

読書録代わりにしたため、あとで私自身が読むのに非常に役立ち、一度読んだだけでは、数ヶ月もすれば「記憶のかなた」に飛んでいってしまう「ただ、あの本はよかった」という感触だけが残っているという、もったいない状態を防いでいるわけです。特に古典は貴重で、この読書録をふたたび読むと、作者がいつている意味がますます

噛み締められ、よくわかるということが可能になります。営業やツールなどの実用本も、便利です。

ここに収録されている主な古典をあげて見ますと、以下のようなものがあります。もしそのエッセンスを読んでみたいというものがありましたら、(尾藤 ブログ 書籍名か著者名で)検索して私の書評を読んでいただくか、お知らせいただければお送りします。



自助論(スマイルズ)、福翁自伝、カーネギー自伝、君主論(マキャベリ)、貞観政要、ツアラツストラはかく語りき(ニーチェ)、歎異抄、人生の短さについて(セネカ)、フランクリン自伝、自省録(マルクス・アウレリウス)、易経、武士道(新渡戸稲造)、ファウスト(ゲーテ)、チャップリン自伝、ヘレンケラー自伝、ユング自伝、夜と霧(フランクル)、ブルターク英雄伝、孤独と人生・存在と苦悩(ショーペンハウアー)、ローマ帝国衰亡史、ゲーテ格言集、自然について・精神について(エマソン)、人間性の心理学(マズロー)など

新春『人生を安心して生きるための金融資産運用セミナー』を開催します。

資産運用の成功を、新春の決意にされた方も多いことでしょう。ぜひ、その目標の実現のために、このセミナーにご参加ください。

2011年1月29日(土)午後3時～午後5時

金融機関から完全独立のFPが「本当の資産運用とは」を徹底解説！

～参加無料、限定10名～

講師：尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

申し込みは、下記メールまたはTelにて「1月29日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール： info@bfsc.jp

Tel:03-6721-8386

このセミナーで、バブル崩壊の前と後の30年以上の経験と資産運用分野でグローバルスタンダードの最高資格を持つ、完全独立のアドバイザーだからこそ語ることでできる「こうすれば人生を安心して生きられる資産運用法」をお伝えします。

◆このセミナーで、老後や家族のために失敗しないお金の運用法がわかる！◆

日本の将来が不透明で先行き大丈夫かという不安がつの中、自分や配偶者の老後や家族の将来はどうなるか、一人で考えあぐねていても解決の糸口は見つかりません。

証券会社や銀行に相談しても、本当に役に立つ情報は提供してくれない、自分たちに実入りのいい商品ばかりすすめると感じることはありませんか？しかし一度しかない人生、家族とともに安心とゆとりをもって生きていくためには、老後の資産運用で失敗はできません。

金融機関から完全独立で、お客様の利益を最優先に考えるびとうファイナンシャルサービスだからこそ、お話できることがあります。30年以上の経験とグローバルスタンダードの最高資格をもつFP・資産運用アドバイザー、尾藤峰男が「本当の資産運用とは」をこのセミナーでお話します。土曜の午後のひと時を、人生を安心して生きるために使ってみませんか。

セミナーでお話する内容

- 日本株の停滞にどう対処するか。
- 証券会社や銀行にだまされずにどう対抗するか。
- 安心して人生を過ごせる資産運用はどうしたらできるか。
- 財政破綻など日本のリスクが高まる中、どう資産防衛をするか。
- 日本株に比べはるかに好調な新興国やグローバル市場の魅力

セミナーに参加された方の声

- 金融商品のコストの見方がよくわかった。
- 知り合いにも、ぜひ知らせる。
- 非常に王道・正攻法で、よかった。
- 証券会社への対処法がよくわかった。
- 日本だけではお金の運用はうまくいかないことがよくわかった。

新春『人生を安心して生きるための金融資産運用セミナー』

日時：2011年1月29日(土) 15:00～17:00

場所：TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームA(日比谷帝劇ビル地下1階)

<http://tkpteigeki.net/access/index.shtml>

(最寄り駅：有楽町・日比谷駅 三田線寄りの帝劇入り口B3出口から入ると

わかりやすいです。)

～参加無料 限定10名～

講師：尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

申し込みは、下記メールまたは電話にて「1月29日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール： info@bfsc.jp

Tel: 03-6721-8386